



戦〇絶唱シ〇フオギアAXZのエッチなCG集

基本CG24枚

射精差分有り



ん、♡

ん、♡

ぬちゅ♡

ちゅ♡

ぶるん♡

ぶるん♡

ずちゅ♡



おっぱい
ミルク♡

あん♡

ザーンガッツリ中出し
されながら♡

爆発はぁん♡
♡

びゅる♡
♡

あーしま♡
♡

♡

トパイ



あん♡

んじ♡

ふん♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

神様♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

神様♡





んくっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

すっ♡

ぬっ♡

♡

グッ♡

スッ♡

♡



んんんんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡

んんん♡



ん-♪

ん335♥

33ん♥

おと

おと



んっ♡

ピクッ♡

んっ♡

んっ♡

んっ

んっ

んっ

んっ

「み、見せるだけだからかなッ
絶対さわんなよッ
せ、絶対だからかなッ



むー

で、でも少しは
な、なんでもねーよッ

「……お前、そんなに溜まっただ

んがよ。

盛大にぶっかけてくれちゃっただよ

……でもお前のソレ、すぐいいな。

ドキ

ドキ♡

こんなにいっぱい出したばっから

なのにそんなにギンギンで。

……おまえさえ良ければこの先も





んー
んー
んー

んー

んん
んん

ずんずん

ずんずん

ずんずん

ずんずん



ん
ん
ん
ん
ん
ん

ん
ん
ん
ん
ん
ん

ん
ん
ん
ん
ん
ん

ん
ん
ん
ん
ん
ん

ド
ク
ク
ク
ク

ド
ク
ク
ク
ク

ん
ん
ん
ん
ん

ん
ん
ん
ん
ん

ん
ん
ん
ん
ん



「んー、んおういんあ？」
「んー、どうしたんあ？」
「なに？ぶつかたけんあ？」
「まーいけどな」

じゅる♡

じゃぽ♡

ぬるま♡



「んあえうう？」

舐める？

あたしの唾液とアイスとザーメンが
混ぜたスペシャルジュースを

ドキ

ふ

どき

ん

どき



「お、お前のせいだからツツ!!
絶対責任とれよなツツ!!
絶対だぞツツ!!」



「おっぱいおいしいでちゅか〜？
いっぱい飲んで大きく
なるんでちゅよ〜
…あら、ごっちのミルクも
いっぱい出そうでちゅね〜？
びゅーびゅーだして
気持ちよくなりまちゅね〜？」

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

にゅっ♡

にゅっ♡



「んんッ、そんなに強く吸ったら
気持ち良すぎて……で、出ちゃうッ!!
おっぱいからミルクびゅーびゅー」
でちやうばんんッくッくッ!!
おちんぽみるく絞りがらお母さん
ミルクでちやういましゅううッッ!!

「私、おっぱいまで子供じやないんですよ？
おっぱいまでつけてちよつとずっおっぱい
なっつてんだっすかからね。……
触ってるんで確かめてみます？」

るん♪

ドキ♡

ドキ♡



「……これが、精液。男の人の……
え？ も、勿論知ってる。
これで赤ちゃん、出来るんだよね？
……気持ちいいんだよね？」

私、やってみたい。
あ、あなたと。
その、せっくすを。
いいよね？

ぽっ♡

ドキ♡

ぬと♡





「ぐふふ、調ちゃんって言うんでしゅか？
可愛い名前でしゅね！
さつき飲んだ特製ドリンクのお味はどうでしゅか？
一口飲んだらもうちんぽの事しか考えられないで
しゅよね？ぐふふふふ」

イッちゃん、調ちゃん、の未使用おまんまん
あつあつと、あつあつという間にイッちゃんたよお
まんの半分ついでにうううことかなあぐふふふ

イッちゃん

イグガブル

びびっ

びびっ

びびっ

びびっ

びびっ

でもでも安心してくださいますか。
ドリンクの効果は丸一日みたくてしゅから動く
オナホとしてたつぷり使用させてもらうでしゅよ？
あつあつ、またあつあつになつてしましゅた、うううう
もう腰がとまらないでしゅっ



あっ

便器

リンカーズのお荷物

ロックスン 便器

24時間 不開放

すぽっ

やあ

好豚 大歓迎

女便器

すぽっ

即妊 持



おぼ

いぎん

あぶら

便器

リンカー
お荷物

24時間
不開放

おぼ

おぼ

ドパッ

おぼ

即性娘

おぼ



んじっ

んじ

ぬた

んじ

んじ

んじ

ぬた

んじ

んじ

んじ

TAGAS



「……あ、あの見せるだけ、ですからね？
触ったり、撫でたり、揉んだり、吸ったり、
噛んだり、叩いたり、ローション垂らしたり、
片方に吸い付きながら指で乳首をくりくり
したり、男の人のものを私のおっぱいで

〜ピク



どき
♡

挟んで激しくこすりつけたり、顔に掛けたり
おっぱいでいかに大量にどぶどぶしたりしちゃ
だめですか？
本当にだめですか？
最初は優しくタツチから始めるとかだめ
ですか？
絶対の絶対ですからね！

「……あんなにだめだったと言ったのに、
 悪い人なんじゃないか？　たっぷりどぴゅどぴゅしちやって
 ぶわたいのぉっぱいいに湯気が立つほどに
 かけちゃうって……こんなになぬるぬるで……」



不思議な匂い……嗅いでいると頭がくらくら
 してきて……ねえ……お兄さんまだまだ
 元気じゃないですかあ……もつときもち
 いっぱいトコに出したくないですか？
 私と一緒に気持ちよくならないですか？」



おおお!

こびん?!

スビッ

おっ

カッ



あっ!?

ビクッ
ビクッ

うそっ

中に?!

はっ♡

ふっ♡

やめ!?

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ゴボ

どろろ

ふっふん♡

ちゅ♡

ちゅ♡

んっ♡

むっ♡

ぬっ♡

ずっ♡





「まったく、ド直球でおっぱい
見せてくれって3時間も
土下座するなんて駄目な
OTONAの見本みたいな人
デスね……」



ピンクッ

アーン♡

「こんな、未成熟な少女の身体に
欲情するなんて恥ずかしくないん
デスカ？」

「……ふう。どうデスか？
汚れを知らない少女の肉体に
思う存分BUKKAKEをした
感想は？
……え？
デスって？
まだまだしたりない
♡
♡



ふうーん、そっちがその気なら
こっちもその気で受けて立つ
デース。
デースから「絞り返してあげる
デース!!」

んー♡

んー

へいへい♡

ちゅ♡

かっ

♡

ん

ん

ん





「ちゅ、さわりたければ勝手になさいっ
……ただし、覚悟してからさわる事。
この意味、わかるわよね？」

とたふ

ピカッ



「……すずい量。」

「こんななにいつぱい……どれだけ

溜まつていたのよ貴方は？」

「ああ、もう胸の周りがぬるぬる

じゃないのよ……」

ふー♡

ぬと♡

ぷるん♡

でも、こんなに大量に膣内で

出されたら……壊れちゃうかしら？」

「ねえ、貴方試してみない？」

んふん〜♡

ふら〜♡

ちゅー♡

んんんん〜♡

ちゅー

ちゅー

ちゅー

ちゅー





さあさん♡

んはい♡

あーん♡



まゃん♡

がら♡



どろろ♡

「いい、いくら身体検査と言えども
そんなに食い入るように見つめられては……」

ふっ♡



なに？　　すぐ綺麗だと？

ふっ♡

……た、たわけた事を……

……ま、まあ見られて減るもの

……ま、まあ見られて減るもの

……ま、まあ見られて減るもの
「赤面」

ふん
ピカ

「まず、随分いっぱい、その……出たのだな……私の身体を見て興奮した、と解釈して良いのだな？
蓼食う虫も好き好きとは申すものだが、返す返すもお前という奴は……」

はっ♡

はっ♡

ぬい♡

ぬる♡

「こほんっ、それで、その……随分元気なのだな
その、お前は……
あー、お前さえよければ……な？」

んん♡

ん♡

ちゅ♡

ん♡

すんすん

すんすん

んん

ちゅ





んんん♡

んん♡

んん♡

んんん♡



んん♡



ピクッ

ピクッ

ピクッ

ピクッ

ゴッ

ゴッ

ピクッ

ピクッ

「……あ、あの、写真は取らないで
くださいよね？
ひび……あの、友達にバレちゃうので。」

はっ
♡

はあ
♡

……タツチ有りだとわたくららに

なりませんか？

はい……はい、一分間でそんなにつー！

あの、じゃあ、タツチアプリもおつけー

です。……で……

あ、あ、あんまり強くしなからでくれなよ

うれし……お」

「……えっつと、これは聞いてないんですケド……え？追加料金でこんな！……これだけあれば響と……いいえ、なんでもありません。」



むー
とばあ
あ

えっつとじゃあ、……え？ ホテルで添い寝

するだけで〇万円!!
……本当に何もしないですか?
指一本触れないと約束してくれますか?

……ええ、じゃあ、お願いします「響と
あれもこれ全部……えへへ」

「えっと、今日は生殖器のテスト、でしたっけ？
ああ、はい、ボクも色々調べているんですけど
せつくす、でしたっけ？
あんなに激しい事をしてみんな大丈夫なんですか？



え？ あれは撮影用でかなり抑えていて
本当はもつと過激で激しい行為を行っている
んですか？
ええ、……みなさんすごいですね……
よし、ボクも頑張ってみますね。
何事も経験、です！」

「これが精液、ザーメンという代物ですか……
粘度はこれほどでもないんですね……
匂い、もちよつと独特ですね……
嫌い、嫌な感じはしません……
むしろ、ちよつと心惹かれるというが……」



ふわ
ふわ
ふわ
ふわ
ふわ
ふわ
ふわ
ふわ
ふわ
ふわ

とろ
とろ
とろ
とろ
とろ
とろ
とろ
とろ
とろ
とろ

は
は
は
は
は
は
は
は
は
は

「次はいよいよ挿入ですよね？
ふうー、ちよつとじゅんじゅんもつた。
は、大丈夫です。
少し緊張してしまいましたが……
大丈夫です……」